

子ども第三の居場所づくり

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

メリーアティックホース



学習や体験活動などを通して
子どもの居場所をつくります！

学習支援を中心に、工作や
実験といったイベントを行います！

活動した後は、希望者を対象に
夕食を提供します！（無料）

オンラインで関東や沖縄の
小学生と交流の機会もあります！

参加費無料

開所時間

15～19時

※火・水曜日 定休

電話 090-9694-2869

アクセス 京都市伏見区深草野手町 11-11

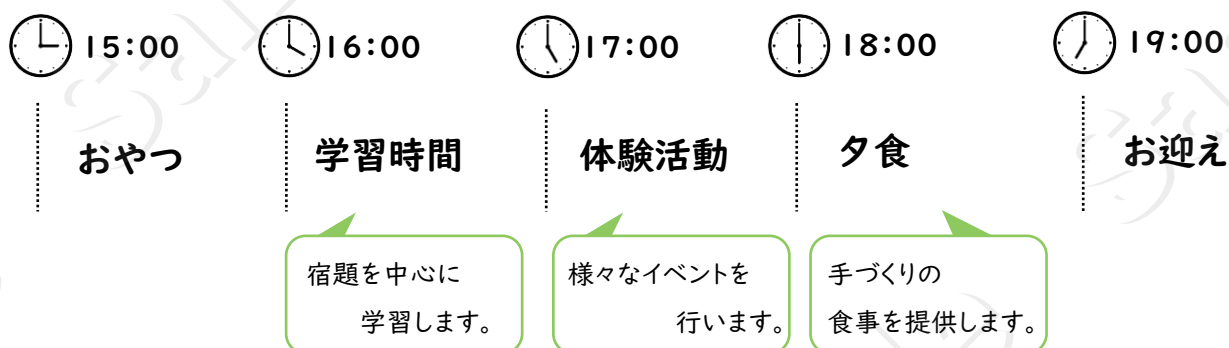
LINE

LINE



ホープの1日

- ・対象児童 小学生
- ・スタッフ 職員3名
- ・開所日 月・木・金曜日
- ・活動内容 学習支援/工作/実験 など
- ・開所時間 15~19時
- ・利用料金 無料



「子ども第三の居場所」とは

普段はショートステイ・トワイライト事業を行っている「メリーアティックボンド」にて、日本財団「子ども第三の居場所」の活動と連携し、「メリーアティックホープ」としてお子様のお預かりをしています。ここでは子どもの学習支援だけでなく、体験活動や食事提供を行い、子どもの居場所づくりをしています。ご興味のある方は、いつでも「メリーアティックホープ」までご連絡ください。お待ちしております。

すべての子どもたちが、未来への希望を持ち、これからの社会を生き抜く力を育むことのできる機会と環境を提供することは、大人世代の責任です。しかし現実には、家庭の抱える困難が複雑・深刻化し、地域のつながりも希薄になる中で、安心して過ごせる居場所がなく、孤立してしまう子どもも少なくありません。

日本財団は、子どもたちが安心して過ごせる環境で、自己肯定感、人や社会と関わる力、生活習慣、学習習慣など、将来の自立に向けて生き抜く力を育む「子ども第三の居場所」を全国に拡げます。ここをハブとして、行政、NPO、市民、企業、研究者の方々と協力し、誰一人取り残されない地域子育てコミュニティをつくることで、「みんなが、みんなの子どもを育てる」社会を目指します。

